

令和7年度 相馬市立磯部中学校 学校経営・運営ビジョン

学校経営基本方針

「小規模校としてのメリットを最大化した『磯部ならではの教育』を目指し、次の5つを柱として、子ども一人一人の個性・特性の伸長が図れる学校づくりを行う。

- 1 学ぶ過程で多様な他者と関わることをとおして、自分の強みを認識させ、自己有用感を高める。
- 2 集団と個の両面の視点で、「各教科等での学び」と「地域などとの関わりの中での学び」を往還させ、指導の個別化や学習の個性化を図る。
- 3 言語活動やICTを活用した学習活動等をおとして、RSTの視点を踏まえながら、言語能力及び情報活用能力を育成する。
- 4 「地域とともにある学校」としての役割を果たし、学校、保護者、地域住民等が子どもたちの教育の当事者となる。
- 5 小学校と連携し、学校の組織的実践力、すなわち「学校力」を高める。

＊1及び2に関しては、「総合的な学習の時間」及び「特別活動」を核として、教科等横断的に資質・能力の育成を図る。

目指す学校像

- 子どもが個性・特性を発揮し、自己選択、自己決定しながら、主体的・創造的・協働的に活動できる学校
- 生涯にわたって学び続けるために必要な学び方や社会性、知識及び技能などを確実に身につけられる学校
- 保護者や地域等との相互理解・協力を図り、地域の思いを未来へ伝承できる学校

目指す教師像

- 子どもたちの成長に喜びを感じ、ともに学び続けることができる教師
- 自分の持ち味を活かし、学校運営に参画できる教師
- ワークライフバランスを考えながら教育活動の充実のために組織的に協働できる教師

教育目標

- 進んで学ぶ生徒 ○心豊かな生徒 ○健康で、たくましい生徒

目指す生徒像

- 多様な他者を尊重しながら、自分の考えや言動に自信がもてる生徒
- しなやかなたくましさを持ち、困難に負けず自己実現できる生徒
- 自分が生まれた地域に誇りをもてる生徒
＊磯部小の目指す児童像
自他のよさ(多様性)を自覚し、自己決定・自己選択できる自立した子ども

重点目標

- ふるさとに誇りを持ち 多様な他者とともに学び、挑戦できる生徒

Key Word

- 強みを活かす・伸ばす ※子どもも 教職員も 地域も

本校の教育を巡る現状

	プラス要因(Helpful)	マイナス要因(Harmful)
内部環境 ・学校 ・生徒 ・教職員	Strength(強み) ✓少人数教育による「個別最適化された学び」の充実 ✓小中での連携した取組 ✓素直な生徒が多い ✓一人何役もの活躍の場 ✓共通理解のもと、一丸となった指導態勢	Weakness(課題) ✓「協働的・探究的な学び」の不足 ✓生徒数の減少・配置教員数の削減 ✓自己肯定感・自己有用感が低い ✓「学び方」が身に付いていない ✓レジリエンスの低さ ✓競争意識や積極性に欠ける ✓教職員の校務分掌の多さ
外部環境 ・県、市教委 ・地域 ・保護者	Opportunity(機会) ✓小・中学校同一の校舎 ✓育成すべき資質・能力の共有 ✓一人1台端末の完備 ✓保護者及び地域の理解・協力 ✓自然豊かな学習・生活環境 ✓震災があったからこそそのマインド	Threats(恐れ) ✓地域の人口(生徒数)減少 ✓人的交流の絶対的な少なさ ✓家庭教育を取り巻く困難な状況

保護者・地域の願い

- 基礎・基本を身に付け、自主的に学習に取り組む子ども
- 自分の考えをはっきりと言える子ども
- 一人一人の個性・特性を大切にする学校
- 思いやりや感謝、命の大切さなど心の教育
- 地域を愛する子ども・学校・住民

子どもの学び

磯部ならではの教育

学校 (カリキュラム) 地域 (資源、思い・願い)

確かな学力の育成

- ◎個別最適化された学び、協働的な学び、探究的な学びの実現により、学力を向上させます。
 - 少人数教育の良さを生かした授業実践
 - 主体的・対話的で深い学びの実現(画一的な一方通行の授業からの脱却)
 - 各種調査、RST結果分析を生かした指導の工夫
 - 個に応じた指導の工夫(ICTの活用等)
- ◎自ら学習を調整しながら学ぶ力を育成します。
 - 育成すべき資質・能力を明確にした指導と評価
 - 教科書を読みこなせるRSの育成
 - 「学び方」の指導の充実
 - RPDCAによる自己マネジメント力の育成
 - 教科書を使った家庭学習習慣の確立
 - 新聞、コラムを活用した「メモする力」の育成
- ◎ 教師の授業力向上を図ります。
 - 互見授業による校内研究(RS・小中接続)
 - 「授業スタンダード2」による日々の授業実践
 - 教科の専門性を高める他校教員との交流

豊かな人間性の育成

- ◎自分のよさや努力に気付かせることで自己肯定感・自己有用感を高めます。
 - 生徒主体の教育活動の推進
 - 自他を認める「特別活動」の充実
 - 地域貢献を視点とした「総合的な学習の時間」の充実
- ◎道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育みます。
 - 考え、議論する道徳の授業実践
 - 多様な感じ方、考え方と出会い交流する場の設定
 - 学校行事等の体験活動やボランティア活動など関連づけた指導
- ◎人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を育みます。
 - 地域企業による出前講座や見学学習を活用したキャリア教育の実施
 - キャリア・パスポートの蓄積を活用した指導
 - 教育活動全体を通しての人権教育の充実

健康・体力の向上

- ◎健康を保持増進するための実践力を育みます。
 - 体力向上推進計画の改善と実践
 - 保健体育及び部活動での基礎体力づくりと運動習慣づくり
 - 自分手帳による健康マネジメント力の育成
- ◎自他の命を大切にする指導を推進します。
 - 様々なアプローチによる防災教育の充実
 - 交通・生活安全教育と指導の充実
 - 家庭と連携した食育の推進
 - 放射線教育の充実
 - 現代的健康教育の充実(性に関する指導・がん教育等)
- ◎保健衛生指導と心のケアの充実を図ります。
 - 感染症予防対策の継続と、差別、偏見の起きない適切な知識の育成
 - 悩み・いじめ等の調査の実施と教育相談の充実
 - SC及びSSWや関係機関等との連携

保護者・地域との連携・協働

- ◎保護者、地域と緊密に連携・協働し、「地域とともにある学校づくり」を目指します。
 - 学校・家庭・地域における目指す生徒像や学校像等に関するビジョン及び目的・目標の共有
 - 地域の人的、物的資源を活かした教育活動の展開
 - 学校行事の公開、学校へ行く週間の充実
 - 各種たよりやWeb等での定期的な発信
 - 緊急時対応マニュアルの小学校、保護者、地域との共有
- ◎小学校や地域の人との交流を通して、社会性や判断力、問題発見・解決能力を育成します。
 - 「磯部の良さ(豊かな自然環境、第1次産品等)」を活かした学びや体験の充実
 - 地域と学校をつなぐプロジェクト学習、SDGsの達成のための課題解決学習の推進
 - 地域と共に協働する生徒会活動の充実
 - 他校との交流学习の実施
 - PTAや社会教育関係団体、関係期間等との連携の強化

学校運営の充実

- ◎目指す児童生徒像を共有し、9年間を見通した小中連携を推進します。
 - 学校内の組織体制の見直しと協働文化の構築
 - ・小中合同の教育活動の実施(異学年交流)
 - ・学校運営、生徒指導、保健等の情報共有
 - ・小中接続、RSの視点による授業研究会の実施
 - ・9年間の「磯部の学び」による家庭への啓発
 - 小中連携したPTA組織、学校評議員会の運営
- ◎教職員一人一人が高い志をもち、学校力を高めます。
 - 教職員自らの目標設定と実践・検証【研修履歴の活用】
 - 学校運営参画意識の高揚と、主体的・協働的な働き方改革の推進
 - 服務倫理委員会による「信頼される学校づくり」
- ◎安心・安全な教育環境を整備します。
 - 安全点検の徹底と早期補修及び修繕
 - 通学路の点検と交通安全指導の徹底